



とやま夢大陸

Y U M E ・ T A I R I K U

2016.1
vol.103

CONTENTS

02 ■新年あいさつ

■1・2・3月コンベンションカレンダー

03 ■コンベンショントピック

①第5回コンベンション懇談会

②第5回賛助会員交流セミナー

③第25回国際ミーティング・エキスポ (IME2015)

04 ■とやまの魅力アラルト

環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」を目指して

06 ■ちょっとひといき

■統計で見る「とやま」

07 ■富山県内の博物館・美術館など

■富山おもやげ図鑑

08 ■参加者アンケート調査結果

世界遺産菅沼合掌造り集落

Pick up
Convention

2016 dhk東京ヘアモードアカデミー 全国役員総会&新年会IN富山

平成28年1月18日(月)～19日(火)

黒部市宇奈月国際会館「セレネ」・宇奈月延対寺荘

東京ヘアモードアカデミーは、「社会に対する正しい理容の啓蒙活動」と「業界内の指導教育活動」の二つを理念として、幅広く様々な活動いたしております。主な活動として、数多くのニューヘアをマスメディアに発表、消費者オシャレコンテストの開催やヘア情報誌の発行などを行っています。

この度、富山において初めて開催され、全国で活躍するdhk支局をはじめ、全国理容競技大会優勝者、世界理容大会優勝者、理容世界大会メダリストなども参加して行われます。





迎春



公益財団法人 富山コンベンションビューロー
会長 高木 繁雄

新年明けましておめでとうございます。

最近の我が国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、先行きについては、中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れによるリスクに留意が必要な状況です。

こうした中、学会や全国会議等のコンベンションは、交流人口の拡大や観光客の増加、県内消費の拡大等の効果が期待されております。昨年3月に北陸新幹線が開業し、県内でもその効果が現れているところですが、この開業効果を持続させることが重要であり、当財団としては、これまで以上に積極的にコンベンション誘致に努めてまいりたいと考えております。

昨年は、「北極科学サミット週間2015」などの国際会議をはじめ、「日本臨床救急医学会総会・学術集会」、「日本東洋医学会学術総会」、「全国民生委員児童委員大会」など、全国レベルの大規模なコンベンションが数多く開催されました。

本年も、「G7 富山環境大臣会合」や「CSW2016（化合物半導体週間）」などの国際会議のほか、「日本周産期・新生児医学会学術集会」、「全国自治体病院学会」、「電気学会全国大会」など、多くの大規模なコンベンションが予定されています。

当財団としては、県、市町村、民間団体等と広く連携を図りながら、積極的にコンベンション誘致に努めるとともに、歓迎看板の設置をはじめ、レセプションやアフターコンベンションへの各種支援施策等により、「富山で開催してよかった」と言われるよう、引き続き開催支援に努めてまいります。

今後とも、皆様方の温かいご支援、ご協力をお願い申しあげ、新年のご挨拶といたします。

春に備えて力を蓄える、安らぎに満ちた季節となりました。

1月 2月 3月 コンベンション・カレンダー



- | | | |
|----|-----------|--|
| 1月 | 14 | 平成27年度青少年育成支援機関に関する
ブロック連携会議
富山国際会議場 [150人] |
| | 18
～19 | 2016 dhk東京ヘアモードアカデミー
全国役員総会&新年会IN富山
黒部市宇奈月国際会館「セレネ」ほか [110人] |
| 2月 | 4 | 平成27年度アセットマネジメント担当者全国会議
富山県民会館 [120人] |
| | 13
～14 | エンジン02 in 富山
富山国際会議場 ほか [2,000人] |

- | | | |
|----|-----------|--|
| 2月 | 13 | イタイイタイ病を考える県民フォーラム
富山県イタイイタイ病資料館 [120人] |
| | 19 | 教育実践研究会
富山大学附属特別支援学校 [200人] |
| 3月 | 25
～26 | 平成27年度第2回全国科学博物館協議会
理事会・総会及び第23回研究発表大会
富山市科学博物館 [110人] |
| | 5
～9 | 日本植物分類学会第15回大会
富山大学五福キャンパス [300人] |
| | 17 | 平成28年度富山地区春季実践倫理講演会
富山県総合体育センター [3,500人] |

① 第5回コンベンション懇談会

- 日時：平成27年11月11日(水)14:00～15:20
- 会場：富山県民会館
- 参加人数：15名

富山県へのコンベンション誘致をさらに推進し、県外参加者への「おもてなし」の向上を図るとともに、関係者間の連絡調整を円滑に行うことを目的に、第5回コンベンション懇談会を開催しました。

今年度もコンベンションに関わる会場施設、宿泊施設、業界団体等の方々に出席いただき、県と事務局から現在の支援内容・誘致状況を説明した後、参加者との意見交換を行いました。

北陸新幹線開業に伴い、コンベンション参加者や観光客が増加しており、コンベンション施設・宿泊施設等の利用率や物販・飲食の売り上げなど、好調に推移しています。この開業効果を今後も持続できるよう、継続的な誘致活動や県外参加者のニーズに応じた案内表示の整備、行政支援の必要性等について多くの意見が出され、今後の課題や連携強化の必要性を確認しました。



② 第5回賛助会員交流セミナー

- 日時：平成27年11月11日(水)15:30～17:00
- 会場：富山県民会館
- 参加人数：46名

賛助会員同士の交流を深め、行政・関係団体・業界の方々とも連携・協力してコンベンション誘致を推進していくため、第5回賛助会員交流セミナーを開催しました。

今回は日本コンベンションサービス（株）、MICE都市研究所所長、MICEエバンジェリストの廣江 真氏を講師に招き、「富山の特色を活かしたコンベンション誘致を考える」と題して講演いただきました。

各地方都市では、様々な方法論で地域振興や地域の活性化の議論が交わされていますが、その方策の一つとして人を呼び込む交流ビジネス、MICEが注目されるようになってきました。

MICEは経済波及効果から、産業振興や都市を活性化させ、地方創生にも効果があります。MICE開催地決定の10の要素を具体的に提示されるとともに、開催に合わせた文化施設や公的空間等のユニークベンチャーの利用促進を図ることの重要性を指摘されました。また、ネットワークを構築し、新しいビジネスイノベーションの機会を取り込むことなど、MICEについて種々のケースを説明され、幅広く講演していただきました。



③ 第25回国際ミーティング・エキスポ（IME2015）

- 日時：平成27年12月9日(水)～10日(木)
- 会場：東京国際フォーラム
- 参加人数：3,441名

今年もコンベンション事業等を推進する134団体が出展し、東京国際フォーラムで国際ミーティング・エキスポ（主催：観光庁・JCCB等）が開催され、コンベンション主催団体や関係者が多数訪れました。

富山県と当財団が共同で出展した「富山県ブース」では、北陸新幹線の開業で首都圏がより身近になったことから、学会や大会などの主催者の方々から多くの相談などがありました。全国トップレベルのコンベンション開催支援補助制度や会議施設・宿泊施設などを詳しく紹介し、県内での開催に向けて積極的な誘致を行いました。

また、北陸新幹線や飛行機による交通アクセスの利便性や豊富な観光資源など、富山の魅力をアピールしました。



環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」を目指して

富山県では、環日本海地域の環境・エネルギー先端県を目指し、県内全域でのレジ袋の無料配布廃止などの県民総参加で環境保全の取組みを行っています。

全国に先駆けたレジ袋の削減

本県では、法令などの規制によることなく、県民、事業者、関係団体、行政が一体となった自主的な取組みにより、平成20年から全国初の県内全域でのレジ袋の無料配布廃止の取組みを実施しています。

H20.4.1 レジ袋の無料配布廃止スタート

- ・マイバッグ持参率：95%（H26、全国トップ）
- ・H20～26（7年間）のレジ袋削減枚数：10億枚達成



レジ袋の無料配布廃止スタート

H25.10.20 「とやまエコ・ストア制度」スタート

- ・レジ袋無料配布廃止に加え、資源回収、低炭素化などの取組みを県民と協働で行う店舗を登録
- ・登録店舗：74社1,149店舗・6商店街（H27.11）



とやまエコ・ストア制度
シンボルマーク「エコぼうや」



レジ袋削減10億枚達成記念イベント

豊かな森、水資源の保護

本県では、県土の多くを占める森林を守り育てるため、「水と緑の森づくり税」を活用して、幅広い県民の参加を得ながら森林の整備と保全に取り組んでいます。

H19.4.1

「水と緑の森づくり税」の導入

8年間（H19～26）の整備実績

【～H28目標】

里山林 2,111ha 【2,600ha】

混交林 1,118ha 【1,500ha】



ボランティアによる森づくり



優良無花粉スギ「立山森の輝き」の普及

立山の貴重な自然の保全

日本有数の山岳観光地である立山は、富山県のシンボルであり、ライチョウなど貴重な動物が生息・生育しています。本県では、立山の自然保護のため、マイカー規制やバスの排出ガス規制などに取り組んでいます。



立山のライチョウは40年間安定的に生息しています。



立山弥陀ヶ原・大日平
H24.7 国際的に重要なラムサール条約湿地に登録

H27.4 立山におけるバスの排出ガス規制の開始

※自然環境保全のための排出ガス規制は全国初

再生可能エネルギーの積極的な導入

本県では、豊富な水資源を活かした小水力発電など再生可能エネルギーの導入を進め、低炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。



小水力発電所



国際環境協力の推進

本県では、北西太平洋地域の環境保全のため、国際機関と連携した海洋環境の保全や日本、中国、韓国、ロシアの地方自治体との交流を積極的に行っています。

◇本県に国連の北西太平洋地域海行動計画※(NOWPAP)地域調整部を誘致(H16.11)し、その活動を支援
※国連環境計画(UNEP)が提唱し、4ヵ国(日本・中国・韓国・ロシア)が参加する計画

◇日中韓三カ国環境大臣会合の本県開催(H19.12)
(地方都市での開催は初)
◇北東アジア環境パートナーズフォーラムを併催(H19.12)
(とやま宣言を採択)

◇G7富山環境大臣会合の開催(H28.5)



三カ国環境大臣会合

お問い合わせ

○富山県生活環境文化部環境政策課 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 TEL 076-444-3141 FAX 076-444-3480

ちょっと
ひといき

健康まめ知識

喉の炎症&乾燥対策には 根菜パワーのホットドリンクを！

木枯らしの吹く季節。この季節は喉の痛みやイガイガを感じる事が多くなります。今回は喉をいたわる食べ物や飲み物をご紹介します。

喉が痛くなる原因には風邪による炎症がありますが、風邪を引いていなくても、エアコン暖房や睡眠時の口呼吸による乾燥で喉を痛めることがあります。こうした炎症や乾燥から喉を守るには、殺菌効果があり、保温・保湿効果のあるものが良いようです。

体を温める野菜といえば根菜類です。まずは生姜。皮付きのまま薄くスライスした生姜を鉄板に並べ、100度以下で約1時間、ゆっくり加熱して乾燥させます。これを刻んで冬の常備薬にします。水分が抜けているので長期保存が可能です。鍋料理やスープ、紅茶に入れて飲めば体の中から温まり、喉の痛みが和らぎます。解熱効果も期待できるので「風邪かな?」と思った時はたくさん摂って症状の悪化を食い止めましょう。

次は大根。大根は炎症を抑える働きがあるので積極的

に摂りたい野菜。ぜひ、試していただきたいのが大根シロップです。大根を小さく刻み、器に入れ、ハチミツをたっぷりかけて1日おけば、大根エキスが溶けたシロップができます。ハチミツには殺菌効果があり、ビタミンやカルシウムも含まれているので栄養もあります。このシロップをお湯で割って飲んだり、お茶に入れて飲んだりすれば喉の痛みが和らぎます。

このほかの根菜類では、抗菌作用のあるネギ、炎症緩和作用のある蓮根などもおすすめ。普段から味噌汁にたっぷり入れて飲むようにしましょう。ともかく冬は温度差、乾燥など喉には厳しい状況が続きます。マスクや加湿器を常備するなど外側からの乾燥対策もお忘れなく…。



平成25年工業統計調査結果

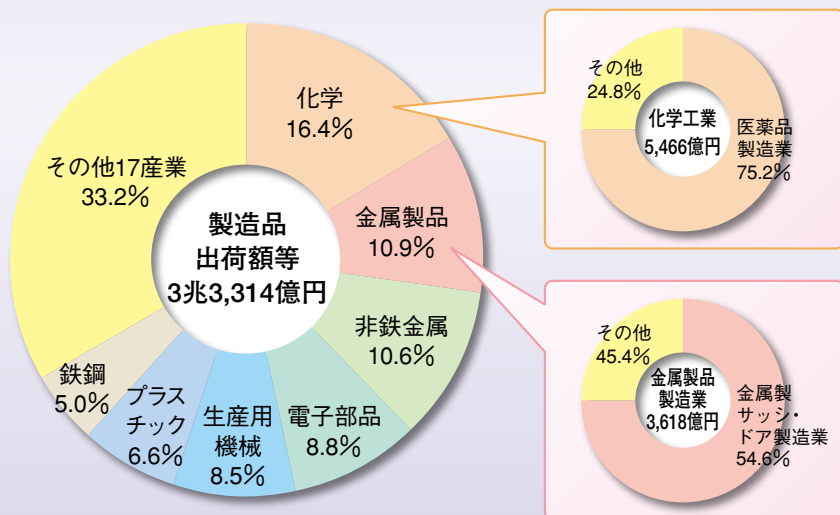
～様々な産業が集積し、全国シェアトップクラスも！～

平成25年調査の結果、富山県の製造品出荷額等は3兆3,314億円となり、化学、金属製品、非鉄金属などが上位を占めています。

産業別の内訳をみると、化学工業において、「くすりの富山」の技術を活かした医薬品製造業が75.2%を占めています。

また、低廉な電気料金によってアルミ関連産業が集積しており、金属製品製造業では、アルミサッシなどの金属製サッシ・ドア製造業が54.6%を占めるとともに、全国トップシェア(24.9%)となっています。

富山県産業中分類別製造品出荷額等(平成25年)



【お知らせ】

平成28年経済センサスー活動調査

調査の期日 平成28年6月1日
調査の対象 全国すべての企業・事業所
主な調査項目 経営組織、従業員数、事業別売上(収入)金額、費用総額及び費用項目など



富山県内の博物館・美術館など

薬種商の館 金岡邸（富山県民会館分館）国登録有形文化財

薬種商の館「金岡邸」は、300年の歴史をもつ国内でもまれな富山売薬の資料館で、当時の製薬道具、売薬版画、貴重な薬箱・薬袋などを展示しております。そのなかでも日本に6体しかないと言われている珍しい麝香鹿^{じやくかう}の剥製、イッカクの牙、180種類の生薬原料などは貴重なものです。母屋の建物は、江戸時代から続く明治初期の売薬店舗が再現されております。奥の迎賓館の新屋には、天井が総檜木正目の格天井の座敷、茶室は、屋久杉で造られ、一刀彫りの井波欄間がある座敷など、日本情緒を漂わせています。皆様のご来館をお待ちしております。

DATA

〒930-0992 富山市新庄町1-5-24 TEL・FAX 076-433-1684 E-mail kanaoka@po4.nsk.ne.jp

●開館時間 午前9時～16時 見学科一般（大学生含む）200円、児童・生徒は無料 ●団体割引 30名以上10%引 100名以上20%引 ●休館日 火曜日及び年末年始 ●アクセス／富山駅から車で約13分、北陸自動車道富山ICから約20分／富山駅から地鉄電車で約7分、「東新庄駅」下車徒歩約5分



富山市郷土博物館

富山市郷土博物館は、昭和29年に戦災復興のシンボルとして建設され、「富山城」としても親しまれています。平成17年には全館リニューアルし、展示室では「富山城ものがたり」をテーマに、400年以上におよぶ富山城の歴史を、築城から現代にいたるまで、模型や映像も用いて分かりやすく紹介しています。前田利長が着用した、高さが140cmもある兜や、天守展望台からの眺めも人気です。このほか、企画展示室では富山の歴史文化に関する企画展を随時開催しており、富山のことを知る上で絶好の施設となっていますので、ぜひご来館ください。

DATA

〒930-0081 富山県富山市本丸1-62 TEL 076-432-7911 FAX 076-432-8060

E-mail hakubutukan-01@city.toyama.lg.jp http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/

●開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで） ●入館料 一般 210円、小中学生100円（特別展会期中は料金を変更します） ●休館日 年末年始、展示替え期間等館内整備日 ●アクセス／富山駅から徒歩約10分、市内電車環状線国際会議場前下車 徒歩2分、北陸自動車道 富山ICから車で約15分 ※専用駐車場はありません



ミュゼふくおかカメラ館

ミュゼふくおかカメラ館は、カメラと写真・映像の魅力を伝えるミュージアムとして、平成12年9月に、富山県高岡市（旧福岡町）にオープンしました。富山県内では唯一となる安藤忠雄氏による設計であり、建物自体がひとつの芸術作品として、その光が奏でるシンフォニーもお楽しみいただけます。このユニークな空間に、所蔵するクラシックカメラによるコレクション展と、第一線で活躍する写真家たちによる企画写真展を開催し、年間を通して県内はもとより全国からもたくさんの方々にご来館いただいております。地域の写真活動を紹介する展示会や写真教室などさまざまな試みに取り組むミュゼふくおかカメラ館へどうぞお越しください。

DATA

〒939-0117 富山県高岡市福岡町福岡新559 TEL 0766-64-0550 FAX 0766-64-0551

http://www.camerakan.com/

●開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで） ●入館料 企画写真展ごとに定めます。※土日祝日は高校生以下無料、20名以上の団体は2割引 ●休館日 月曜日（祝日を除く）、祝日の翌日（翌日が土・日曜日の場合は火曜日）年末年始・展示替えによる臨時休館日 ●アクセス／あいの風とやま鉄道高岡駅より「福岡駅」下車徒歩5分／福岡I.C.から車で5分



富山おみやげ図鑑

53

「特製 昆布巻」

北海道産幅広い真昆布にすり身を伸ばし、渦巻き状に巻き上げ、蒸した見た目にも美しく、美味しい逸品です。富山名産昆布巻かまぼことして地域ブランドを取得しています。



株式会社梅かま
富山市水橋村崎482-8 TEL 076-479-1853

54

「のうかや 苗加屋」

濃厚ながらもキレイのある酒「苗加屋」シリーズ。伝統の味わいを継承しながらも、独自の発想により、豊穡となみ野の大地でお酒を醸し続けています。



若鶴酒造株式会社
砺波市三郎丸208
TEL 0763-32-3032 FAX 0763-32-1251

平成27年度コンベンション参加者アンケート調査結果

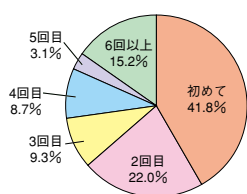
県内での平均消費額は53,876円

—— 宿泊数は平均1.8泊、来県回数は平均2.5回 ——

(公財)富山コンベンションビューローは昨年9月～11月、富山県内で開催された全国規模のコンベンションから、分野の異なる6学会・大会を抽出。県外参加者3,180人を対象にアンケートを実施しました。その結果、県内での平均消費額は、53,876円（前年比0.4%増）でした。以下は主な項目の結果。

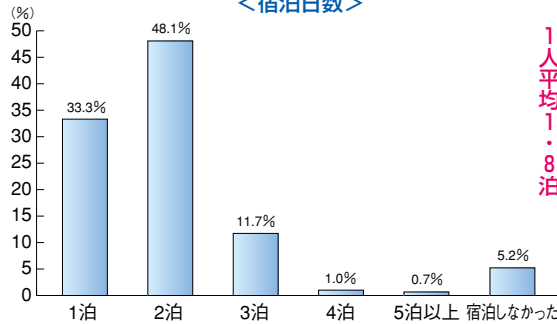
回答者 325人
回答率 10.2%

<来県回数>



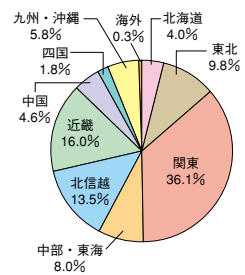
富山県への来県回数
約4割が初来県

<宿泊日数>



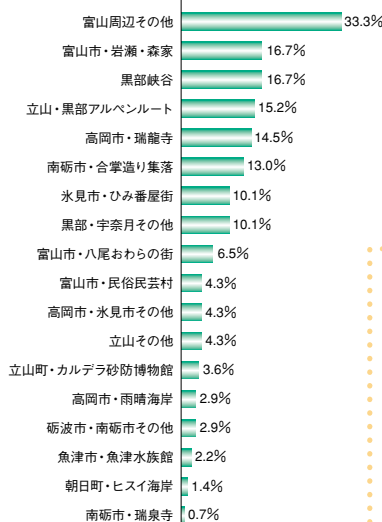
宿泊日数
1人平均1.8泊

<参加者構成>

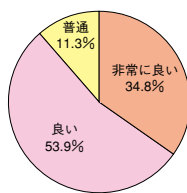


参加者の構成
約4割が関東から

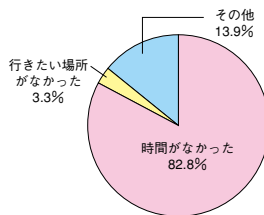
<訪れた観光地>



<観光地の印象>

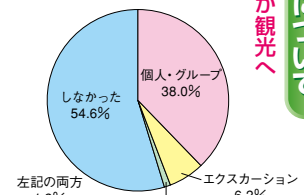


<観光しなかった理由>



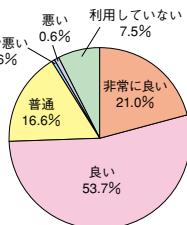
観光しなかった理由は
約8割が時間不足

<観光しましたか>

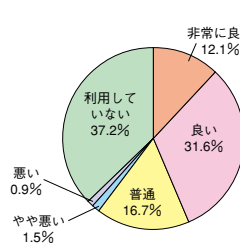


観光について
約4割が観光へ

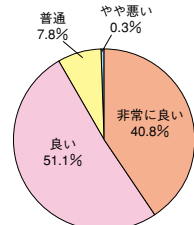
<飲食店の料金・サービス>



<タクシー等の対応>

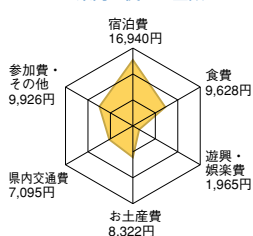


<富山の印象>



富山の印象

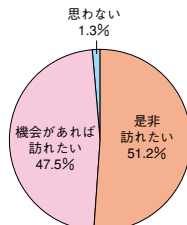
<県内で使った金額>



富山県内での1人平均消費額 (単位:円)			
	27年度	26年度	前年比
宿泊費	16,940	20,944	-19.1%
食費	9,628	9,570	+0.6%
遊興・娯楽費	1,965	2,372	-17.2%
お土産費	8,322	5,633	+47.7%
県内交通費	7,095	8,602	-17.5%
参加費・その他	9,926	6,539	+51.8%
合計	53,876	53,660	+0.4%

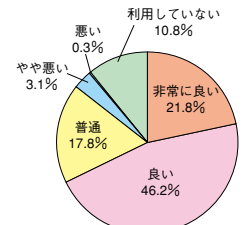
県内で使ったお金
食費に9,628円
お土産費に8,322円

<再訪の可能性>



再訪の可能性
99%の人が「再訪したい」と回答

<滞在中の交通の利便性>



交通の利便性
約7割が「便利」と評価

注) 四捨五入により100%に満たない場合があります。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は、北陸新幹線の開業で多くのコンベンションが開催され、国内外からたくさんの皆さまをお迎えすることができました。本年もより多くの方々に富山の魅力を発信し、充実した支援体制で一層のおもてなしをしたいと思います。

コンベンション開催の支援やとやまの情報などは、ホームページをご覧ください。

ようこそ、富山県へ

[編集・発行]



公益財団法人
富山コンベンションビューロー

〒930-0083 富山市総曲輪2-1-3 富山商工会議所ビル7F

TEL.076-421-3300 FAX.076-421-0963

URL : <http://www.cap.or.jp/tcb/> E-mail : toyama-213@voice.ocn.ne.jp